いばらき 市議会だより

2026年（令和8年）11月号
No.267



川端康成氏の書斎を再現した展示コーナー（川端康成文学館）

9月（第4回）定例会

令和8年第4回定例会を9月3日から29日までの27日間の会期で開催しました。

● Page2
9月定例会
一般会計補正予算質疑

● Page3
公共交通に関するアンケート

● Page6
一般会計
決算特別委員会質疑

● Page7
令和7年度
各会計別歳入歳出決算額

● Page8
9月定例会議決結果

● Page9
―9月定例会議決結果
―可決された意見書
―請願

編集 / 議会広報委員会　発行 / 茨木市議会
電話 (072) 620-1670　FAX (072) 623-7591
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei_info/gikai/index.html

スマートフォン等で読み取ることができます。

9月定例会 一般会計補正予算質疑

左記二次元コードから
録画配信を
ご覧いただけます。

9月3日、4日の2日間にわたり、質疑を行いました。

主な質疑内容は次のとおりですが、誌面の都合上、質疑の一部しか掲載できません。詳しい内容は、市議会ホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。

(11月下旬予定)

小学校へ給水設備の導入を



一歩の会
佐藤 恵

問 小学校では、基本的に水筒が空になった場合は水道水での補充とし、空にならない量の持参等で調整しているとのことである。水道水を飲むことに抵抗がある児童もいるほか、大きな水筒を肩掛けすることによる児童への負担や、転倒による内臓損傷等のリスクもある。対策として、マイボトル給水機など給水設備の導入を検討すべきと考えるが、市の見解は。

答 水道水に抵抗がある児童がいることや、水筒の重量による児童への負担、転倒時のリスクは認識しており、安全面と熱中症予防の両面のバランスをとり、各家庭とも連携して対応していく必要があると考えている。給水設備については、これまでの議論も踏まえて総合的に検討を進めるため、学校現場のニーズ把握に努めていく。

救急安心センターおおさか#7119について



大阪維新の会
円藤 こずえ

問 高齢化により、今後も救急出動件数は増加が見込まれる。令和7年の本市における救急件数は約1万9千件となっているが、症度別では「軽症」が圧倒的に多く、必ずしも救急搬送でなくてよい場合も多く含まれているのではないか。救急利用について相談できる「救急安心センターおおさか#7119」があるが、市民の利用件数は。また、運営についてはどうか。

答 認知度・利用件数は着実に増加傾向にあり、令和7年中の本市からの利用件数は1万510件である。本市をはじめ、府下の市町が費用負担して運営しており、人口規模と財政規模割により按分された令和7年度の本市負担額は593万5千円である。



データセンター建設に必要な手続き等は



自由民主党・絆
下野 巖

問 デジタル技術の進展に伴い、全国各地でデータセンターの建設が進んでおり、本市の彩都地区においても事業用地が設けられている。データセンターは、施設からの排水や排熱、景観への影響なども問題視されているため、建設に当たっては特に地域住民の理解が必要だと考える。事業者が建設を計画した際の手続きと、市が行う指導はどのようなものか。

答 中高層建築物に係る条例や開発行為等の手続条例等に

基づく必要な手続きを行った後に、建築基準法に基づく建築確認申請が行われる。事業者等に対しては、近隣住民等に寄り添い、丁寧な対応に努めるよう指導している。

多様な主体と連携したまちづくりを



公明党 北原 正



問 地域課題が複雑化する中、行政だけで解決できない問題については、企業や学校等の多様な主体との連携が重要ではないか。各主体が持つ資源と地域ニーズを結び付ければ、課題解決とコミュニティ活性化を同時に進められると考えるが、本市の包括連携の現状と取組み、可能性についての認識は。

答 現在は13の企業、11の大学と包括連携協定を締結し、コンビニにおける認知症高齢者の見守り活動や大学共催の交流イベント等を行っている。さまざまな課題等に対応する上で、多様な主体とのかかわりは大変重要であると考えており、引き続き、企業や大学が有する資源をいかし、共創のまちづくりをさらに推進していく。



誘致病院への公的支援の必要性は



会派に所属しない議員 辰見 直子



問 民設民営を掲げて始まった病院誘致事業において、事業者候補者の大阪医科薬科大学から引き続き公的支援を依頼されているとのことである。他の市内病院は、新たな診療科の開設や増床など、公的支援がなくとも運営を充実させている中、誘致病院への公的支援についてどのように考えているのか。

答 誘致病院には本市に必要な医療機能の提供を義務づけていることなどから、誘致の実現に一定の支援は必要と考えている。しかし、物価高騰等の影響や本市の財政状況などを見極め、また他の市内病院との公平性も考慮し、市民の共感を得られるよう、公的支援の必要性について検討を進めていく。

ペット同室避難への取組みを



いばらき未来の会 仁木 和芳



問 本市のすべての指定一般避難所では、ペットとの同行避難を想定している。一方で、他市では同室避難を認めている事例もあるとのことである。一般避難者への配慮は大前提としつつ、避難の選択肢を増やし、ペットを理由に避難をためらう方の命を守るための取組みとして、先進事例の情報収集や研究を進めてはどうか。

次頁へつづく

公共交通に関するアンケートにご協力ください！



市内のバス・タクシー等の利用実態のアンケートをオンラインで実施します。ご回答いただいた内容は今後の施策の検討に活用します。 **【回答期間】令和８年11月１日(日)～11月14日(土)**





【主な質問内容】
・バスの利用に不便を感じますか？
・バス停に必要だと思うものは？

※市議会ホームページからも、ご回答いただけます。
※令和８年10月２日(金)におにクルで実施した調査と同様の質問内容です。

前頁つづき

答 熊本地震や能登半島地震の事例に基づき、施設条件や運営方法、受入れルール等について情報を収集していく。また、災害の程度を踏まえた優先すべき対応に留意しながら、本市での実現の可能性や課題について研究していく。



来庁者が快適に過ごせるよう余裕を持った空調管理が必要ではないか。市がクーリングシェルター（※1）に指定している各館東玄関ロビーや、食事場所としている南館9階の温度環境改善について、市の考えは。

答 近年は熱中症の危険性も高まっており、これまで以上に室温、湿度、来庁者の状況等を見て冷房運転を行っている。今後さらに温度変化などに気を配り、適切に運用していく。クーリングシェルターについては意義等を踏まえ、環境整備を検討していく。南館9階は、光熱費への影響も考慮する必要があるが、食事環境として適切な対応を検討していく。

庁舎内の温度環境改善を



大阪維新の会
川口 元気

問 現在の空調設備では、庁舎内の室温を一定に保つことは難しいようである。そのため、空調利用の判断に迷う時期でも、

酒造り産業への取組みを



自由民主党・絆
福丸 孝之

問 本市では古くから酒米作りとともに、「摂津誉」などの酒造りも行われていた。近年、造り酒屋と連携して酒米作りを実施した事例もあるようだが、市内の造り酒屋はあと1件を残すのみである。文化を守り、シビックプライド（※2）を醸成するためにも、「摂津誉」の復活プロジェクトや、今ある主要銘柄「見山」の継承に取り組んではどうかと考えるが、市の見解は。

答 歴史ある本市の酒造り産業は存続することは望ましいと考えている。そのためには、市民の関心を高めることが必要であり、例えばオープンカンパニーへの参加を促すなど、取組みの可能性について今後研究していく。

ウォーカブルなまちづくりに総合的な視点を



自由民主党・絆
永田 真樹

問 本市におけるウォーカブルなまちづくりの本来の目的は、歩行者空間の確保自体にあるのではなく、人が訪れ、歩き、滞在することによる中心市街地の活性化にある。そのため、市街地へのアクセスと市街地内の回遊は一体的に考えることが重

議会Q＆A

Q 補正予算とは何ですか？

A 当初予算は、予想されるすべての歳入歳出等を見込んで編成され、議会の議決を経て成立します。しかし、年度途中に、災害の発生、政策の変更、制度の改正等により、既定予算の金額や予算科目を変更しなければならない場合があります。

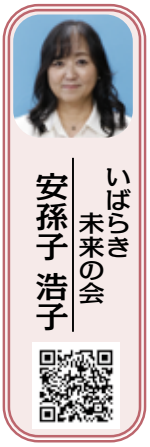
そういった場合に、当初予算の場合と同じく編成され、議決等の手続きを経て成立する追加の予算のことを補正予算といいます。



（※1）クーリングシェルター：極端な高温時（熱中症特別警戒アラート発表時など）に一般開放され、危険な暑さをしのぐための冷房設備が整った施設。

要ではないか。これらの両立について、市の考えは。

答 中心市街地と居住地域をつなぐ交通手段の確保や、自転車利用環境の整備といった交通施策の推進により、アクセス性の向上を図っていく。また、多様な主体とのかかわりのもと、歩いて楽しい徒歩圏の形成、魅力的な都市空間の整備と誘導、公共空間利活用の促進等を進めていくことで、中心市街地全体の回遊につなげていく。



いばらき未来の会
安孫子 浩子

身寄りのない高齢者への支援の今後は

問 社会福祉法が改正され、身寄りのない高齢者の日常生活や入院・入所手続き、死後の事務等を支援する事業が福祉事業の一つに位置付けられることとなる。これを受け、市は今後どのような取組みを進めていくのか。また、こうした支援を必要としている方を地域の中でどのように見つけ出し、支援へと結び付けていくのか。

答 対象者の把握も含め、頼れる身寄りがいない高齢者等を支援していくためには、今回創設される事業だけではなく、さまざまな主体の参加による包括的な支援体制のさらなる強化が重要であることから、今後とも重層的支援体制整備事業を推進していく。





公明党
青木 順子

JR茨木駅西口駅前周辺整備の今後は

問 令和7年に策定された駅前周辺整備基本計画では、4つの整備方針を掲げ、明確な将来像とも言える、具体的な整備イメージを示している。ところが、今後の進め方に関しては「現段階における想定」となっている。計画を市民に示した以上、実現する責任があると考えるが、今後、4つの整備方針については、どのように進めていくのか。

答 市、権利者、鉄道事業者など関係者で情報共有や意見交換等を行いつつ、整備方針を踏まえた事業計画の具体化を図るとともに、市民や関係者等とまちづくりの方針を共有しながら進めていく。



JR茨木駅西口前（西駅前町）

市議会のうごき

7月				8月				9月								
2日	7日	29日	30日	6日	7日	28日	3日	4日	8日	9日	10日	11日	14日～17日	25日		29日
公共交通に係る特別委員会	議会広報委員会	市街地整備対策特別委員会	北部地域整備対策特別委員会	幹事長会	議会広報委員会	議会運営委員会	本会議（初日）	本会議（2日目）	民生常任委員会 建設常任委員会	民生常任委員会	文教常任委員会 総務常任委員会	文教常任委員会	一般会計決算特別委員会	幹事長会 議会運営委員会		本会議（最終日）

（※2）シビックプライド：住民が地域や自治体に対する誇りや愛着を持ち、地域社会の発展に貢献しようとする当事者意識のこと。

一般会計決算特別委員会　質 疑

「令和７年度大阪府茨木市一般会計決算」の審査が付託された一般会計決算特別委員会は、上田　光夫 委員（自由民主党・絆）を委員長に選任し、９月 14 日から 16 日の３日間にわたり、関係書類の審査を行ったのち、17 日に質疑を行い、委員会としての採決を行いました。

その後、29 日の最終本会議における採決で、賛成者多数で認定しました。



一般会計決算特別委員会での関係書類審査

自由民主党・絆　福丸　孝之

共創のまちづくりの手応えと成果は

問　令和７年度は、「共創のまちづくり」を掲げた第６次総合計画の開始年度であった。さまざまな取組みや事業を行い、成果が出始めた一方、部署間での温度差などもあったのではないか。共創にかかる事業を進める中で得られた成果や手応えについて、市の見解は。

答　部署間の温度差はありながらも、それぞれの部署が多様な主体と共に悩みながら事業を展開し、一歩ずつみんなで成長する中にあったと捉えている。共創は総合計画として長く取り組むテーマでもあり、前例踏襲主義に陥ることなく、みんなで共創する舞台をつくることが肝要と考えている。

ＪＲ駅前周辺整備の課題と展望は

問　令和７年度に策定された駅前周辺整備基本計画において、ＪＲ・阪急両駅西口の整備イメージなどが整理されたことを踏まえ、市の考え方と今後の進め方について権利者の方へ説明を行ったとのことだが、令和７年度に見えた課題と展望は。

答　多様な立場の関係者の意見等を調整し、合意形成を図りながら事業を進めることが課題と認識している。引き続き、再整備の方向性や進め方について、権利者の皆さまと意見交換しながら検討していくことが必要だと考えている。

いばらき未来の会　櫻井　淳貴

彩都東部地区のまちづくりについて

問　彩都東部地区では広域・沿道型の商業・業務施設（にぎわい施設）の誘致が検討されてきたが、土地利用の具体化に当たっては、事業者ニーズや市場性、立地条件を幅広く把握した上で、実現可能性を見極め、柔軟に検討することが重要と考える。本市から負担金を支出している彩都建設推進協議会において、こうしたニーズ把握や課題整理は行われてきたか。

答　令和７年度は広域・沿道型商業・業務区域にかかる調査研究等は実施されていないが、令和８年度には、にぎわい施設等も視野に入れながら、事業者ニーズを把握するためのアンケート調査等の実施を予定されている。

一歩の会　佐藤　恵

ふるさと納税への取組みは

問　ふるさと納税の寄付金受入額は、当初予算を上回ったとのことだが、プロモーション費用とその効果は。一方で、個人住民税の寄付金控除額は受入額を大きく上回り、危機的状況にある。市民や転出者への啓発の取組みとその効果や課題は。

答　約１４０万円を執行し、広告運用等を委託したことによっ

て得た専門家の知見により、受入額増につながったと捉えている。市民には広報誌等により周知し、昨年度の転出者には転出手続き時のちらし配布等の啓発を行ったが、効果の把握は難しい。ふるさと納税は全国に拡大しており、状況の好転は容易ではないが、返礼品の充実や魅力発信に努める必要があると考えている。



大阪維新の会　浅野　優子

自転車放置の原因分析は

問　令和7年度においても、放置自転車への対応にはかなりの費用がかかっている。事後対応として撤去するだけではなく、発生要因の分析も重要ではないか。令和7年度に放置自転車が多く発生した駅や場所について、その周辺の駐輪場の利用状況・満車状況・定期利用の待機状況などとの関係はどのように把握・分析しているのか。

答　自転車の放置は、買い物等の行き先やその所要時間など利用者の心理的要因によるものも想定されるため、発生場所とその周辺の自転車駐車場の空き状況との関係性については把握していない。

大阪維新の会　長谷川　浩

適正な電気・ガス調達の維持を

問　令和7年度事務報告書において、「安価な電力調達、ガス調達による経費削減を図るため、入札を実施する」とあるが、どの程度の経費削減となったのか。また、世界情勢や社会環境の変化に伴う原料の高騰等により、契約年度中に価格を改定することはあるのか。

答　約款金額との比較で、高圧電力は約25％、約1億9千220万円、低圧電力は約10％、約550万円、ガスは約1％、約30万円の削減となった。事業者はコスト上昇分を見込んだ価格で応札していると認識しており、契約年度中に価格改定をしたことはない。

公明党　大村　卓司

物価高騰対策について

問　実質収支で約10億2千万円の黒字決算である中、物価高騰対応経費における一般財源からの歳出は約1億9千万円であった。例えば、プレミアム付商品券のプレミアム率や発行部数、物価高騰支援給付金の支給額等をもう少し上乗せすることも可能だったのではないか。令和7年度の物価高騰対策について、市の見解は。

答　物価高騰対策は、国・府の財源や財政調整基金の活用を基本に取り組んでいる。実質収支は物価高騰、行政課題等に対応した上で、収支の均衡や年度間の財政運営も考慮した結果であり、物価高騰や現在と将来に向け必要な事業を推進するに当たり、効果的に財源を活用し、進められたと考えている。

令和７年度各会計別歳入歳出決算額

（単位：円）

会計区分		歳入決算額	歳出決算額	差引
一般会計		117,571,516,082	113,944,827,818	（※）3,626,688,264
特別会計	財産区	5,327,081,071	103,617,085	5,223,463,986
	国民健康保険事業	25,664,115,730	24,960,382,953	703,732,777
	後期高齢者医療事業	6,052,020,045	5,797,603,980	254,416,065
	介護保険事業	24,261,157,997	23,654,449,947	606,708,050
合計		178,875,890,925	168,460,881,783	10,415,009,142
下水道等事業会計（収益的収支）		7,295,122,707	6,828,867,155	466,255,552
水道事業会計（収益的収支）		5,930,080,763	5,576,075,120	354,005,643

（※）翌年度に繰り越す財源 2,608,082,406 円を含む

９月定例会議決結果

（○：賛成、×：反対）

	件名＼会派・議員名	大阪維新の会						自由民主党・絆						公明党				いばらき未来の会				一歩の会			会派に所属しない議員				結果
		栗尾憲	岩本守	浅野優子	長谷川浩	川口元気	円藤こずえ	永田真樹	西野貴治	福丸孝之	塚理	上田光夫	下野巖	北原正	和田美紀	青木順子	大村卓司	仁木和芳	櫻井淳貴	西本睦子	安孫子浩子	片岡真	佐藤恵	米川勝利	森本麗子	大嶺さやか	辰見直子	山下慶喜	
人事案件	茨木市固定資産評価審査委員会委員選任につき同意を求めることについて【仲 猛夫 氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
条例	茨木市市税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	茨木市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	茨木市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	茨木市阪急茨木市駅西地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	可決
	茨木市文化・子育て複合施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市市民総合センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市立生涯学習センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
	茨木市立ギャラリー条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	茨木市運動広場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市立市民体育館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市忍頂寺スポーツ公園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市立いのち・愛・ゆめセンター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市立男女共生センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
	茨木市市民農園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	可決
	茨木市都市公園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	可決
	茨木市教育施設等使用条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市公民館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市立青少年センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市立コミュニティセンター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
	茨木市営葬儀条例及び茨木市立斎場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市駐車場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決
	茨木市消防関係手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

９月定例会議決結果

（○：賛成、×：反対）

件名＼会派・議員名		大阪維新の会						自由民主党・絆						公明党				いばらき未来の会				一歩の会			会派に所属しない				結果
		栗尾憲	岩本守	浅野優子	長谷川浩	川口元気	円藤こずえ	永田真樹	西野貴治	福丸孝之	塚理	上田光夫	下野巖	北原正	和田美紀	青木順子	大村卓司	仁木和芳	櫻井淳貴	西本睦子	安孫子浩子	片岡真	佐藤恵	米川勝利	森本麗子	大嶺さやか	辰見直子	山下慶喜	
その他	令和７年度大阪府茨木市下水道等事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和７年度大阪府茨木市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定について 市道路線の変更について ［一括採決］	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	動産取得について（現場用作業車汚泥吸引車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	令和８年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決算	令和７年度大阪府茨木市一般会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	認定
	令和７年度大阪府茨木市財産区特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	令和７年度大阪府茨木市国民健康保険事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	令和７年度大阪府茨木市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	令和７年度大阪府茨木市介護保険事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	令和７年度大阪府茨木市下水道等事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	令和７年度大阪府茨木市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

◆議長（公明党：松本　泰典議員）は採決に加わりません。
◆９月定例会の議案内容については、市役所南館１階情報ルームに設置している資料をご覧ください。
なお、９月定例会市長提出案件の概要については、市議会ホームページでご覧いただけます。

可決された意見書

９月定例会で可決された意見書を関係機関に送付しました。

◎「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書



請　願

９月定例会に提出された請願は、各所管の常任委員会での審査を経て、９月 29 日の最終本会議で採決の結果、次のとおり決定しました。

◆請願第５号の１（総務常任委員会関係項目）
施設使用料の見直しと施設運営等の改善を求めることについて …… 【不採択】

◆請願第５号の２（文教常任委員会関係項目）
施設使用料の見直しと施設運営等の改善を求めることについて …… 【不採択】

◆請願第６号
小・中学校の女子トイレ、公共施設への生理用品の設置を求めることについて …… 【不採択】

◆請願第７号
合葬式墓地の早期実現と時勢に合わない市営墓地条例の改正を求めることについて …… 【不採択】